

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	公園緑地課	職	課長	氏名	田中 宏明
評価者	組織	公園緑地課	職	課長	氏名	田中 宏明

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	兼六園周辺文化の森の保全と整備	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	3,000 (H27)	3,404 (H26)	5,472 (H27)	A

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	兼六園の保存管理の充実	千人	1,900 (H27)	2,037 (H26)	3,089 (H27)	兼六園整備費	県民	80,779	174,825	A	継続
	課題2	金沢城公園の利活用の推進	千人	1,100 (H27)	1,367 (H26)	2,383 (H27)	城と庭の魅力発信事業費	県民	16,128	16,128	A	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 兼六園整備費	事業開始年度	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	都市公園法

作組織	公園緑地課
成職・氏名	金沢城・兼六園周辺整備G 課長補佐 日出平洋一
者電話番号	076 - 225 - 1772 内線 5263

事業の背景・目的
 兼六園は、加賀藩歴代の藩主により、長い年月をかけて作庭され、江戸時代の代表的な林泉回遊式大名庭園の特徴を今に残している。
 昭和60年には、庭の国宝ともいえる「特別名勝」に指定されており、今日では国内のみならず、広く世界に誇る庭園である。本県における貴重な歴史的文化遺産であり、適切な管理によって永く後世に引き継いでいく必要がある。

- 事業の概要**
- | | |
|--|--|
| <p>1 兼六園施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 園路補修 (2) 竹垣改修 (3) 樹木植栽 (4) 園地保全 (5) 支柱取り替え (6) その他 小規模施設の補修等 <p>2 緑地管理委託</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) マツ剪定 (2) 生垣・樹木刈込み (3) 雪吊り・取り外し (4) 松くい虫等病虫害防除 (5) 外周石垣除草 (6) 大河端・奥卯辰山苗圃等の管理 (7) その他 散水設備管理等 | <p>3 兼六園付帯構造物改修</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ポンプ取替 (2) 土橋改修工など <p>4 苗圃改修</p> <p>樹木整理など</p> <p>5 門扉改修</p> <p>小立野口門扉の改修工</p> |
|--|--|

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備				評価	A
課題	兼六園の保存管理の充実					
	指標	兼六園入園者数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	1,900	1,549	1,733	1,726	2,037	3,089

事業費					
(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 予算	99,687	95,659	121,599	94,079	80,779
事業費 決算	97,180	92,668	121,571	95,870	174,825
一般 予算					
財源 決算					
事業費累計	840,324	932,992	1,054,563	1,150,433	1,325,258

評価	
項目	評価
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A</p> <p>27年度は、園路や竹垣等の補修、園地の維持管理に万全を期し、「特別名勝」としての格式と美を維持する事業を着実に進めることができた。</p>
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">継続</p> <p>本県の貴重な文化遺産である「特別名勝」兼六園を後世に引き継ぐ上で、事業の必要性は高い。</p>

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 城と庭の魅力発信事業費	事業開始年度 H14	事業終了予定年度
	根拠法令 ・計画等	都市公園法

作	組	織	公園緑地課
成	職・氏名	金沢城・兼六園周辺整備G 課長補佐 日出平洋一	
者	電話番号	076 - 225 - 1772 内線 5263	

事業の背景・目的

「金沢城」とその外庭である「兼六園」を一体として、「学習」「案内」「もてなし」の三本柱により、城と庭の魅力を国内外に発信する。

事業の概要

1. 学習事業
 - 城の歴史、文化的背景を交えた解説講座(金沢城大学)の実施
 - ・玉泉院丸跡の歴史や、発掘調査の状況を解説する講座など
2. 案内事業
 - ボランティアガイドによる案内やホームページによる情報発信
 - ・石川門、三十間長屋などの特別公開、ボランティアガイドの常駐等
 - ・金沢城PR映像の制作
 - 外国人向け案内事業の充実
 - ・外国人向けボランティアガイドの常駐
 - ・外国語ガイドの養成
 - ガイドツアーの実施
 - ・玉泉院丸跡などをめぐるガイドツアー
 - ・四季の花巡りツアー 等
3. もてなし事業
 - 四季折々の城と庭の魅力を紹介するイベント開催
 - ・金沢城の紅葉の隠れた名所となっている本丸一帯の夜間ライトアップ
 - ・新丸広場を会場とした雪だるまの制作や雪合戦などのイベントを企画・開催

これまでの見直し状況

重要文化財である「石川門、三十間長屋」の公開日の拡大、ボランティアガイドの体制強化、玉泉院丸跡を巡るガイドツアーの実施など、事業の体制強化を図った。

施策・課題の状況

施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備	評価	A
課題	金沢城公園の利活用の推進		
指標	金沢城公園入園者数	単位	千人
目標値	現状値		
平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
3,000	2,475	2,660	2,761
	平成26年度	平成27年度	
	3,404	5472	

事業費

	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	予算	10,214	10,273	10,000	21,505	16,128
	決算	8,441	10,273	10,000	17,376	16,128
一般	予算					
財源	決算					
事業費累計		40,050	50,323	60,323	77,699	93,827

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	金沢城公園は、兼六園とともに、本県のシンボルであり、また、県民共有の財産である。その価値と魅力を広く発信し、理解し、堪能していただくため、「学習」「案内」「もてなし」を柱とする「城と庭」の一体的な利用促進を図っており、入園者数は当初の目標を上回る人数で順調に推移している。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	金沢城、兼六園の多様な魅力を、これまで以上に国内外に発信するため、ホームページの改修、玉泉院丸庭園のライトアップ、もてなし事業の充実など、さらなる魅力アップを図ってまいりたい。